

**【TKS 4×1 型輪転機 南日本新聞社様 本社工場に納入決定】**

私ども東京機械製作所は去る 6 月 30 日、南日本新聞社様より、本社工場向け「カラートップ・エコワイドⅡ」オフセット輪転機を 1 セット受注致しました。

現在、本社工場に於かれましては、他社製の 4x2 型輪転機 2 セット体制のもと、南日本新聞本紙の他、受託印刷も行われております。

この度のご導入により、他社製 1 セットに替わり、弊社製の輪転機が新たに 1 セット導入されることとなります。

カラートップ・エコワイドⅡは、「最小限のコストで、最大限のパフォーマンスを」をコンセプトに開発した 4 x 1 型輪転機です。現在までに国内 45 セットのご契約を頂いている弊社の主力製品となります。

また、優れたペースター成功率と損紙低減制御によって、ランニングコスト削減に効果を発揮する“ペースター損紙低減制御システム”や、少人数による印刷準備作業と紙通しでの白損紙削減を可能にする“FWL 損紙低減モード”、印刷準備時間を短縮する“高速 FWL”等も搭載しております。

さらに、刷版自動着脱装置（T-PLATER）を装備されており、版掛け作業によるオペレータの負担軽減、印刷準備時間の短縮、作業の効率化に多大な効果を発揮します。

弊社の記録によれば、南日本新聞社様と東京機械製作所との最初のお付き合いは、実に今から 109 年前の 1913 年（大正 2 年）、前身の鹿児島朝日新聞様に納入いたしました弊社製の“石川式（煽式）”輪転機に遡ります。後の 1924 年（大正 13 年）には、“石川式（折式）”輪転機もご導入頂きました。

以来、南日本新聞社様に於かれましては、弊社製の小型輪転機や商業用輪転機をご導入頂いた実績はあるものの、新聞印刷は主に他社製の輪転機をお使いになられていたわけですが、

この度の輪転機更新に、再び弊社の輪転機をご採用頂いたことを、私ども東京機械製作所は大変有り難く光栄な事と考えております。

本稼働は 2024 年 4 月を予定しております。



ご導入されるカラートップ・エコワイドⅡ オフセット輪転機の同型機